

## Khairullah Rahim

ランデブー, 2020

この作品は今回の展示のために特別に委託され制作されたものです。水槽の中にはシャワーヘッド、トンボ、露のしずく、人工植物、木材、砂利、流木など様々な物が、違った色、形、質感で配置されています。この作品は、熱帯の豊かで繁栄している生息地を再現しているのです。このようなアートはアサンブラージュと呼ばれ、日常生活で使う様々なものを配置して作品を作ります。

「ランデブー」というタイトルのこの作品は、様々なコミュニティの全く別の生活を営んでいる人々が集い、交流する生き生きとした公共の場を表現しています。それはパンデミック前の私達の日常生活への感傷的なリマインダーでもあります。同時に、狭いガラスケースの中でイミテーションの宝石が輝くように、あの行動制限の中で生活していた私達の苦しかった時期に肯定的な光を放っているのです。

シンガポールのアーティスト **Khairullah Rahim** は作品の中で日常使う物や公共の場を探求することに興味を持っている作家です。アート制作をしていないときは、近所の熱帯魚店を訪れることを楽しんでいるそうです。**Rahim** はインタビューで『私は若い頃、ほぼ毎日図書館に通い、水族館に関するいろいろな本を何時間も読んでいた』と語っています。